老人ホームで出会うという喜劇で、それが今回の小説のきっかけになりました」とあいさつ。「70歳を過ぎて『新人賞』をもらい、受賞の言葉でも頑張ると書いてしまったので、頑張るしかないと思っています」と今後の創作活動に意欲を見せた。

パーティーは、支木で上演した田辺さん脚本による13作品のスライドショーの上映や、クイズなどで盛り上がった。（三國谷啓）

LED信号 着雪対策 どれが有効

青森で企業など研究発表

県警は24日、青森市の青森国際ホテルで、「LED（発光ダイオード）信号機着雪・凍結対策研究発表会」を開いた。信号機やヒーターの製造企業や、研究機関などから100人余りが参加。これまでの研究で分かった有効な着雪対策を確認し、今後の課題を探った。

また、新年度から民間企業が主体となり、研究開発を進めていくことを申し合わせた。

県産業技術センター工業総合研究所は発表で、各企業体の信号機カバーの試作品を新庄雪氷環境実験所（山形県新庄市）で試験した結果を報告。比較的熱が伝わりやすいガラス製のカバーで、面状にヒーターを施した試作品は融雪性能が高かったことを明らかにした。一方で、安全面でガラス製は割れやすく危険なため、「新たな基板材料の開発を期待している」と呼び掛けた。

このほか、LED型信号機の着雪問題に関心を寄せる3企業などが発表を行った。県内企業と共同研究を行う埼玉県のアドバネクスは、山形県での試験結果を受け、ヒーターの形を変え、カバーの縁部分がより多く発熱するように改良したと発表。「より小さい電力で、より高い融雪性を実現できる」と話した。

また、会場には各企業が開発した試作品や研究をまとめたポスターが展示され、訪れた人が担当者からの説明に聞き入っていた。

県警の工藤彰交通行政官は「これまでの成果により研究の方向性が見えてきた。今後は、民間企業が中心となって製品化に向けて努力するのを、県は最大限に支援していく」と話した。（山本光）

着雪・凍結対策のカバーの試作品について、企業の担当者㊨から説明を受ける参加者

新作 ジブリ・鈴木氏明かす

鈴木プロデューサーは、宮崎監督から昨年7月に新作の企画書を、年末に絵コンテを見せられたことを明らかにし老後はなくなってしまう」と CGを使って制作中だった。

深浦の魚 たらふく

を豪快にさばく実演や、青森地域活性化アイドル「G

ぶが柔らかくておいしかった」と声を弾ませた。

愛和会に有
便宜を図っ
同5月11日
た金のうち
の免除を受
2課は両容
らかにして
捜査2課
の改定で新
補助金が追
た結果、愛
年間約1
た。
同町で保
法人は愛和
課は石本容
導したとみ
る。

宝くじ・ロト7
・カッコ内は当せん口数）
8 11 17 24 28 31 32
字】 12 34
,734,200円（ 1）

1等は申込数
一致。2等は本
にボーナス数字
致。3等は本数
本数字5個と一
と一致。6等は本
にボーナス数字